

【役員用】

第 52 回

全九州スキー選手権大会



期日：2026年 1月18日（日）

会場：九重森林公园スキー場 チャレンジゲレンデ

主催：S A J 九州地区協議会

主管：佐賀県スキー連盟・長崎県スキー連盟

共催：九重森林公园株式会社 くじゅう森林公园スキー場

協力：大分県スキー連盟・福岡県スキー連盟・熊本県スキー連盟

宮崎県スキー連盟・鹿児島県スキー連盟

大会役員

大会会長 松永 茂 (佐賀)
大会副会長 古賀 汎 (長崎) 馬場 博己 (福岡)
坂本 公宣 (熊本) 玉田 輝義 (大分)
小野 秀 (宮崎) 東八重 勉 (鹿児島)

式次第

開会式 1. 開式通告
2. 大会会長あいさつ
3. 選手宣誓
4. 競技上の注意
5. 閉式通告

閉会式 1. 開式通告
2. 開催地あいさつ (スキー場)
3. 成績発表
4. 表彰式
5. 講評
6. 大会会長あいさつ
7. 閉式通告

第52回全九州スキー選手権大会

役割	氏名	県連
大会会長	松永 茂	佐賀
大会副会長	古賀 汎	長崎
"	馬場 博己	福岡
"	坂本 公宣	熊本
"	玉田 輝義	大分
"	小野 秀	宮崎
"	東八重 勉	鹿児島
技術代表	宇野 和明	福岡
競技委員長	清水 保穂	長崎
競技副委員長	立川 栄	佐賀
"	山田 史郎	熊本
"	大西 晃仁	大分
"	佐澤 勲	宮崎
"	東八重 勉	鹿児島
主審	宇野 和明	福岡
副審	佐藤 隆寛	福岡
スタート審判	山田 史郎	熊本
スタート係	荒金 秀則	大分
招集係	宮野 哲美	福岡
フィニッシュ審判	瀬上 誠	熊本
ゴール通告係	松永 茂	佐賀
計時計算係長	立川 栄	佐賀
計算係	木本 光昭	熊本
計測機器操作係1	西山 剛志	熊本
計測機器操作係2	田村 勇司	大分
計測機器操作係3	山田 美樹	大分
セッター	横山 英治	大分
アシスタントセッター	水町 忠男	熊本
アシスタントセッター	佐藤 隆寛	福岡
コース係長	大西 晃仁	大分
コース係1	横山 英治	大分
コース係2	水町 忠男	熊本
コース係3	佐藤 隆寛	福岡
旗門審判係長	清水 保穂	長崎
旗門審判員1	馬渡 敏明	佐賀
旗門審判員2	定直 光一	福岡
旗門審判員3	尾口 福成	宮崎
旗門審判員4	松尾 正道	佐賀
旗門審判員5	山崎 庸弘	佐賀
旗門審判員6		
旗門審判員7		
誘導係	本山 道夫	佐賀
庶務係長	田中 聖二	佐賀
庶務係	小林 真裕美	鹿児島

番号	氏名	県連	役割1	役割2	役割3	役員ビブ	デジタル	TRC(1ch)
1	宇野 和明	福岡	技術代表	主審		主審		
2	宮野 哲美	福岡	スタート招集係			スタート招集係員		
3	佐藤 隆寛	福岡	副審	アシスタントセッター	コース係	副審	5ch(大6)	
4	定直 光一	福岡	アシスタントセッター	旗門審判員2		旗門員2		大3
5	山田 史郎	熊本	競技副委員長	スタート審判		競技副委員長	5ch(大5)	
6	水町 忠男	熊本	アシスタントセッター	コース係		アシスタントセッター		
7	瀬上 誠	熊本	フィニッシュ審判			フィニッシュ審判		
8	木本 光昭	熊本	計算係				7ch(佐5)	
9	西山 剛志	熊本	計測機器操作係1			フィニッシュ副審判	2ch(佐3)	
10	大西 晃仁	大分	競技副委員長	ネット張り	コース係長	競技副委員長	5ch(大2)	
11	横山 英治	大分	セッター	コース係		セッター	5ch(大4)	
12	田村 勇司	大分	計測機器操作係2			フィニッシュ副審判	5ch(大1)	
13	山田 美樹	大分	計測機器操作係3			コース副係長	7ch(佐4)	
14	荒金 秀則	大分	スタート係			スタート審判員	2ch(佐2)	
15	尾口 福成	宮崎	旗門審判員3	ネット張り	フラッグ	旗門員3		大4
16	小林 真裕美	鹿児島	庶務係(受付)	ビブ回収		ゼッケン回収員		
17	清水 保穂	長崎	競技委員長	旗門審判係長		競技委員長	5ch(大3)	大1
18	松永 茂	佐賀	ゴール通告係			ゴール通告員		大7
19	松尾 正道	佐賀	旗門審判員4	ネット張り		旗門員4		大5
20	立川 栄	佐賀	計時計算係長	開、閉会式				
21	本山 道夫	佐賀	誘導係	ネット張り		旗門連絡員		
22	田中 聖二	佐賀	庶務係長(受付)	司会(代表、開、閉会式)	コース係	庶務係長		
23	馬渡 敏明	佐賀	旗門審判員1	ネット張り	ライン引き	旗門員1	5ch(佐1)	大2
24	山崎 庸弘	佐賀	旗門審判員5	アシスタントセッター	フラッグ	旗門員5		大6

第52回全九州スキー選手権大会【開催要項】(2026/1/13 変更:赤字部分)

- 【主催】SAJ 九州地区協議会
- 【主管】佐賀県スキー連盟、長崎県スキー連盟
- 【共催】九重森林公园株式会社、九重森林公园スキー場
- 【協力】大分、福岡、熊本、宮崎、鹿児島各県スキー連盟
- 【期日】2026年1月18日(日)
- 【会場】九重森林公园スキー場(大分県玖珠郡九重町大字湯坪)
- 【日程】

期日	開始時間	実施内容	場所
1月17日(土)	15:00	競技役員打合せ及び準備	レストラン奥
1月18日(日)	7:00	競技役員会議準備開始	レストラン奥
	7:30~8:00	受付	レンタルハウス前
	8:00	クラブ代表者会議	レンタルハウス向側
	8:15 8:30	開会式	レンタルハウス前
	9:00~9:30 9:20~9:40	コースインスペクション	チャレンジコース
	9:40 10:15	競技開始	チャレンジコース
	12:30 13:30	閉会式、成績発表、表彰	レンタルハウス前

- 【種目】ジャイアントスラローム競技、一般男子・一般女子・ジュニア男子・ジュニア女子の団体戦とする。なお、ジュニアとは中学生以下であること。
- 【参加資格】出場選手は、2026年度九州各県スキー連盟加盟クラブ登録者とする。
- 【大会規則】①競技中の選手の事故については、応急処置は行うが、責任は負わない。参加申込者はその旨を了解した上でエントリーし傷害保険に必ず加入しておくこと。未成年者については保護者の同意を得ておくこと。
②クラブ代表者は、代表者会議に必ず出席し、参加選手全員のゼッケンを受け取ること。クラブ代表者が出席しないクラブは、出走を認めない。
③選手は、開、閉会式に参加すること。
④大会の可否は、1月13日(火)正午をもって決定する。中止の場合のみ、各県連事務局に連絡し参加料の8割を返金する。可否広報後の中止については返金しない。
- 【参加人員】①チームは、男子1チーム3名編成(女子混合可)、女子1チーム3名編成(女子のみ)とする。
②選手は、他チームとの重複を認めない。
③各クラブのエントリーチーム数は、制限を設けない。
④補欠はクラブごとにエントリーチーム数を限度に設けることができ、エントリーされたクラブ内での交代を認める。尚、補欠を設けなくてもよい。選手と補欠との交代はクラブ代表者会議で承認されなければならぬ。それ以降の変更は受け付けない。
⑤1名ないし2名での参加で、チーム編成が出来ない場合については、個人エントリーを認める。
- 【派遣役員】①各県連に、役員の派遣を依頼する。※役員と選手の重複は認めない。
- 【競技規則】①S A J 競技規則最新版による。但し、本大会規則が優先する。
②競技出場者は傷害防止のためのクラッシュヘルメットの着用を義務づける。なお、クラッシュヘルメットへの付加物(カメラ等)の装着は認めない。
- 【採点方法】①男女別に各チームの得点は3名の順位を合計したものとし得点の少ないチームを優位とする。
②団体得点で同位の場合は、最上位のものを含むチームを優位とする。
③同タイムの場合は同位とし、次の順位を空位とする。
④途中棄権(D F)及び失格(D)は、完走者最終順位プラス3点、出発棄権(D S)は、完走者最終順位プラス4点、エントリー不足プラス5点とする。
- 【参加料】①チーム参加の場合、1チームにつき一般の部12,000円、ジュニアの部は4,500円とする。
②個人参加については、1名につき4,000円、但しジュニア(中学生以下)は1,500円とする。
- 【申込方法】①佐賀県スキー連盟ホームページより、所定の申し込みフォームをダウンロードの上、必要事項を入力し、クラブ単位で、下記申込先にクラブ申込書および個人申込書を送信すること。
②参加料もクラブ単位で、下記送金先に送金すること。
③申込書および参加料はいずれも、**2025年12月13日(土)必着**とする。
佐賀県スキー連盟ホームページアドレス <http://skisaga.net/index.html>
《申込先》事故防止のため、下記2つのアドレスに同時に送ること。
馬渡敏明 ssa5@skisaga.net 立川栄 ssa6@skisaga.net
《送金先》ゆうちょ銀行 記号17780 番号19058221 佐賀県スキー連盟
他行から送金の場合 店名七七八 店番778 普通1905822 佐賀県スキー連盟
- 【抽選】抽選は、2025年12月20日(土)佐賀県スキー連盟において行う。
①出走順は、第1シード(出走順)からシード毎にドローをする。
②個人選手は、第2シード(出走順)後の出走とし、個人選手のみのドローを行い決定する。
- 【表彰】①ジュニアの部を含めた団体戦として、男女別に1位~3位を表彰し賞状と副賞を授与する。
②ジュニアの部のみの団体戦として、男女別に1位~3位を表彰し賞状と副賞を授与する。
③個人エントリーを含めた全出走者について個人表彰として、男女別に1位~3位を表彰し賞状を授与する。
④ジュニアのみの個人表彰として、男女別、小中別に、1位~3位を表彰し賞状を授与する。
※大会で確定したリザルトについては、参加者氏名、所属等、および成績を含む内容を、大会HP等にて公表する。なお、参加申込をもって、この公表について同意したものとする。
- 【大会本部】2026年1月17日(土)正午より朝日屋旅館(大分県九重町)に設置する。
- 【問合せ】佐賀県スキー連盟 競技部長 馬渡敏明(090-3192-0388)

第52回全九州スキー選手権大会

2026/1/17-18

【タイムスケジュール】

【選手】		【役員】	
17日		---15:00---	15:00 本部役員組織委員会会議 (スキー場レストラン奥)
18日			※役員の準備は駐車場で行ってください ※レストランに荷物は置けません
		---07:00---	7:00 役員作業開始 (レンタルスキーポート奥) セット開始・ネット張り開始
クラブ代表者・選手受付(レンタルハウス前) 7:30		---07:30---	7:30 役員リフト乗車開始
クラブ代表者会議(レンタルハウス向側) 8:00		---08:00---	8:00 クラブ代表者会議(レンタルハウス向側)
開会式(レンタルハウス前) 8:30		---08:30---	8:30 開会式(レンタルハウス前) セット完了
		---09:00---	
			9:10 ジュリーインスペクション
インスペクション開始 9:20			9:20 役員配置完了
入場制限 9:35		---09:30---	
インスペクション終了 9:40			
		---10:00---	
			10:05 前走スタート
競技開始 10:15			
(スタート間隔30s)		---10:30---	
		---11:00---	
		---11:30---	
競技終了 11:45			11:40 後走スタート 撤収等
		---12:00---	12:00 コース開放
閉会式(レンタルハウス前) 13:30		---13:30---	13:30 閉会式(レンタルハウス前)

第52回全九州スキー選手権大会

2026年1月18日(日)

No. 1

種目 GS 女子

スタートリスト

*スタート順(Bib No.)は男女通して設定。

カテゴリー	ビブNo	出走数
1 ジュニア女子	41~50	10名
2 ジュニア男子	51~68	17名 (女子選手 2名含む) (Bib60欠番)
3 一般女子	69~75	7名
4 一般男子	76~126	48名 (女子選手 2名含む) (Bib80, 104, 113欠番)
	計	82名 (女子選手 21名、男子選手 61名)

第52回全九州スキー選手権大会 チーム別、選手、補欠名簿

No.2

【ジュニア女子】

No	スタート(Bib)No	氏名	フリガナ	クラブ名	チーム名	県連	Jr区分	備考
1	41	角田 英里奈	スマ エリナ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームA	佐賀	中	
	44	角田 桜歌	スマ オウカ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームA	佐賀	小	
	49	角田 佳歩	スマ カホ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームA	佐賀	小	
2	42	吉田 亜白	ヨシダ アシロ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブA	大分	小	
	43	時松 花綾	トキマツ カリン	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブA	大分	小	
	50	時松 莉子	トキマツ リコ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブA	大分	小	

【一般女子】

No	スタート(Bib)No	氏名	フリガナ	クラブ名	チーム名	県連	Jr区分	備考
3	69	後藤 紀代子	ゴトウ キヨコ	福岡スペロ一會	福岡スペロ一會 女子チーム	福岡		
	70	松尾 珠美	マツオ タマミ	福岡スペロ一會	福岡スペロ一會 女子チーム	福岡		
	75	中垣 優美	ナカガキ ユミ	福岡スペロ一會	福岡スペロ一會 女子チーム	福岡		

第52回全九州スキー選手権大会

2026年1月18日(日)

種目 GS 男子

スタートリスト

No.3

スタート	Bib No.	選手名	フリガナ	所属クラブ	チーム	県	タイム
11	51	岡村 依令奈	オカムラ エレナ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	
12	52	大川 悠茉	オカワリ ユウマ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	
13	53	今山 晃	イマヤマ ヒカル	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	
14	54	大内 一志	オオナガ ヒトシ	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	
15	55	西村 好生	ニシムラ コウキ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	
16	56	岡本 立志	オカモト リツシ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	
17	57	中 順平	ナカ ジュンペイ	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	
18	58	渡部 勇次郎	ワタナベ ユウジロウ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	
19	59	渡部 雅春	ワタナベ マサハル	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	
20	61	姫嶋 咲甫	ヒメシマ サク	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	
21	62	松田 龍希	マツダ リュウキ	It's Miracle 九州		大分	
22	63	安藤 源太郎	アンドウ ケンタロウ	It's Miracle 九州		大分	
23	64	堤 昭翔	ツツミ アキト	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	
24	65	堤 拓人	ツツミ タクト	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	
25	66	古野 文子	フルノ アヤコ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	
26	67	有吉 錬太郎	アリヨシ レンタロウ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	
27	68	本多 航琉	ホンダ ワタル	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	
35	76	信末 良介	ノブエスエ リョウイチ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分	
36	77	濱谷 秀治	ハマバニ シュウジ	Team R&L	Team R&L Bチーム	福岡	
37	78	堤 雅	ツツミ ミヤヒ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-大人	熊本	
38	79	糸永 敏明	イトナガ ドンタキ	サンマルコ大分スキーチラブ	サンマルコA	大分	
39	81	富倉 義宏	トミクラ ヨシヒロ	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡	
40	82	荒金 奏雪月	アラカネ ソウセツ	スキーチームスノーマン	スキーチームスノーマン	大分	
41	83	黒光 隆允	クロミツ タカノブ	佐賀大学スキーチラブ	佐賀大学スキーチラブ	佐賀	
42	84	内田 利之	ウタダ ドンキ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡	
43	85	大武 尚志	オオタケ ナオシ	福岡スペローハイ	福岡スペローハイ男子Bチーム	福岡	
44	86	深町 圭司	フカチ ケイジ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブB	佐賀	
45	87	上野 高男	ウエノ タカオ	スキーチラブノーサイド	スキーチラブノーサイド	大分	
46	88	小林 蘭	コバヤシ アイ	スノークラブフェニックス	鹿児島ボーイ&ガールズ	鹿児島	
47	89	橋積 崇	ハシヅミ タカシ	司塾	司塾	福岡	
48	90	小佐々 幸貴	オオサカ コウキ	福岡スペローハイ	福岡スペローハイ男子Aチーム	福岡	
49	91	山田 隆啓	ヤマダ タカヒロ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブA広島	佐賀	
50	92	西森 直太朗	ニシモリ ナオタロウ	佐賀大学スキーチラブ	佐賀大学スキーチラブ	佐賀	
51	93	扈山 滋	コヤマ シゲル	サンマルコ大分スキーチラブ	サンマルコA	大分	
52	94	木戸 義之	キモモ ヨシキ	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡	
53	95	徳永 弘	トクナガ ヒロシ	福岡スペローハイ	福岡スペローハイ男子Bチーム	福岡	
54	96	岡本 和也	オカモト カズヤ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブB	佐賀	
55	97	中林 健	ナカハシ タケシ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-大人	熊本	
56	98	西田 太一	ニシタケ タイチ	スキーチームスノーマン	スキーチームスノーマン	大分	
57	99	中村 之彦	ナカムラ ユキヒコ	福岡スペローハイ	福岡スペローハイ男子Aチーム	福岡	
58	100	毛利 敦	モリタケ アツシ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡	
59	101	早田 昌夫	ハヤタケ マサオ	Team R&L	Team R&L Bチーム	福岡	
60	102	松田 光男	マツダ ミツオ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分	
61	103	山本 勝徳	ヤマモト カツノリ	司塾	司塾	福岡	
62	105	梅山 洋一郎	ウメヤマ ヨウイチロウ	スキーチラブノーサイド	スキーチラブノーサイド	大分	
63	106	岩崎 愛暖	イイザキ マリ	スノークラブフェニックス	鹿児島ボーイ&ガールズ	鹿児島	
64	107	川浪 伸洋	カワナミ ノブヒロ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブA広島	佐賀	
65	108	前谷 知慧	マエタケ チホ	佐賀大学スキーチラブ		佐賀	
66	109	高倉 綾	タカクラ リョウ	スキーチラブノーサイド		大分	
67	110	安部 隆信	アベ タカノブ	九重ジュニアレーシングクラブ		大分	
68	111	香月 拳	カツキ ケン	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡	
69	112	古家 三男	コカ ミツオ	福岡スペローハイ	福岡スペローハイ男子Aチーム	福岡	
70	114	柳 利光	ヤナギ トシミツ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡	

第52回全九州スキー選手権大会

2026年1月18日(日)

種目 G S 男子

スタートリスト

No.4

*スタート順(Bib No.)は男女通して設定。

カテゴリ	ビブNo	出走数
1 ジュニア女子	41~50	10名
2 ジュニア男子	51~68	17名 (女子選手 2名含む) (Bib60欠番)
3 一般女子	69~75	7名
4 一般男子	76~126	48名 (女子選手 2名含む) (Bib80, 104, 113欠番)
	計	82名 (女子選手 21名、男子選手 61名)

第52回全九州スキー選手権大会 チーム別、選手、補欠名簿

No.5

【ジュニア男子】

No	スタート(Bib)No	氏名	フリガナ	クラブ名	チーム名	県連	Jr区分	備考
1	55	西村 好生	ニシムラコウキ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	中	
	56	岡本 立志	オカモトリツシ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	小	
	66	古野 文子	フルノ アヤコ	佐賀ジュニアスキーチーム	佐賀ジュニアスキーチームB	佐賀	小	女子
2	54	大内 一志	オオウチヒトシ	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	中	
	57	中 順平	ナカ シュンペイ	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	中	
	68	本多 航琉	ホンダ ワタル	五ヶ瀬中等教育学校	五ヶ瀬中等前期	宮崎	中	
3	51	岡村 依令奈	オカムラ エレナ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	中	女子
	59	渡部 雅春	ワタナベ マサハル	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	中	
	65	堤 拓人	ツツミ タクト	Junior Alpine Kumamoto	JAK-中学生	熊本	中	
4	53	今山 晃	イマヤマ ヒカル	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	小	
	58	渡部 勇次郎	ワタナベ ユウジロウ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	小	
	64	堤 昭翔	ツツミ アキト	Junior Alpine Kumamoto	JAK-小学生	熊本	小	
5	52	大川 悠茉	オオカワ ユウマ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	小	
	61	姫嶋 咲甫	ヒメシマ サスケ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	中	
	67	有吉 錬太郎	アリヨシ レンタロウ	九重ジュニアレーシングクラブ	九重ジュニアレーシングクラブB	大分	小	

【一般男子】

No	スタート(Bib)No	氏名	フリガナ	クラブ名	チーム名	県連	Jr区分	備考
6	82	荒金 奏雪月	アラカネ ソウセツ	スキーチームスノーマン	スキーチームスノーマン	大分	中	
	98	西田 太一	ニシタ タイチ	スキーチームスノーマン	スキーチームスノーマン	大分		
	124	辻 雅英	ツジ マサヒデ	スキーチームスノーマン	スキーチームスノーマン	大分		
7	89	橋積 崇	ハシヅミ タカシ	司塾	司塾	福岡		
	103	山本 勝徳	ヤマモト カツノリ	司塾	司塾	福岡		
	118	高橋 司	タカハシ ツカサ	司塾	司塾	福岡		
8	88	小林 藍	コバヤシ アイ	スノークラブフェニックス	鹿児島ボーイ&ガールズ	鹿児島	中	
	106	岩崎 愛暖	イワザキ マノン	スノークラブフェニックス	鹿児島ボーイ&ガールズ	鹿児島	中	
	122	岩崎 心穂	イワザキ ミオン	スノークラブフェニックス	鹿児島ボーイ&ガールズ	鹿児島	女子	
9	81	富倉 義宏	トミクラ ジヒロ	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡		
	94	木戸 義之	キノモ ヨシキ	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡		
	111	香月 拳	カツモ ケン	Team R&L	Team R&L Aチーム	福岡		
10	77	濱谷 秀治	ハマタニ シュウジ	Team R&L	Team R&L Bチーム	福岡		
	101	早田 昌夫	ハヤタ マサオ	Team R&L	Team R&L Bチーム	福岡		
	121	藤嶽 浩紀	フジシマ ヒロキ	Team R&L	Team R&L Bチーム	福岡		
11	84	内田 利之	ウチダ トシユキ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡		
	100	毛利 敦	モウリ アツシ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡		
	114	柳 利光	ヤナギ トシミツ	Team R&L	Team R&L Cチーム	福岡		
12	78	堤 雅	ツツミ ヤビ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-大人	熊本		
	97	中林 健	ナカハヤシ タケシ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-大人	熊本		
	120	橋口 英介	ハシグチ エイケ	Junior Alpine Kumamoto	JAK-大人	熊本		
13	83	黒光 隆允	クロミタ タカフ	佐賀大学スキーチーム	佐賀大学スキーチーム	佐賀		
	92	西森 直太朗	ニシモリ ナオタロウ	佐賀大学スキーチーム	佐賀大学スキーチーム	佐賀		
	125	小野 太輝	オノ タイキ	佐賀大学スキーチーム	佐賀大学スキーチーム	佐賀		
14	108(補欠)	前谷 知慧	マエタニ チサト	佐賀大学スキーチーム	佐賀大学スキーチーム	佐賀	個人	
	90	小佐々 幸貴	オササ クウキ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Aチーム	福岡		
	99	中村 之彦	ナカムラ キヒコ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Aチーム	福岡		
15	112	古家 三男	コガ ミツオ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Aチーム	福岡		
	85	大武 尚志	オオタケ ナオシ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Bチーム	福岡		
	95	徳永 弘	トクナガ ヒロシ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Bチーム	福岡		
16	126	田上 義広	タカミ ヨシヒロ	福岡スベロー会	福岡スベロー会男子Bチーム	福岡		
	79	糸永 敏明	トナガタトシマキ	サンマルコ大分スキーチーム	サンマルコA	大分		
	93	扈山 滋	コヤマ シゲル	サンマルコ大分スキーチーム	サンマルコA	大分		
(補欠)	117	多田 崇一	タダ タカカズ	サンマルコ大分スキーチーム	サンマルコA	大分		
	125	松永 喬	マツナガ タカシ	サンマルコ大分スキーチーム	サンマルコA	大分		
	86	深町 圭司	フカマチ ケイジ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブB	佐賀		
17	96	岡本 和也	オカモト カズヤ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブB	佐賀		
	115	立川 遼太	タチカワ リョウタ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブB	佐賀		
	91	山田 隆啓	ヤマダ タカヒロ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブA広島	佐賀		
18	107	川浪 伸洋	カワナミ ノブヒロ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブA広島	佐賀		
	116	渡辺 伸彦	ワタナベ ノブヒコ	佐賀スノースキークラブ	佐賀スノースキークラブA広島	佐賀		
	87	上野 高男	ウエノ タカオ	スキークラブノーサイド	スキークラブノーサイド	大分		
19	105	梅山 洋一郎	ウメヤマ ヨウイチロウ	スキークラブノーサイド	スキークラブノーサイド	大分		
	123	梶原 真一	カシワラ シンイチ	スキークラブノーサイド	スキークラブノーサイド	大分		
	109(補欠)	高倉 綾	タカカラ リョウ	スキークラブノーサイド	スキークラブノーサイド	大分	個人	
20	76	信末 良介	ノブエリ ヨウスケ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分		
	102	松田 光男	マツダ ミツオ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分		
	119	松田 虎輝	マツダ トラキ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分		
63(補欠)	63(補欠)	安藤 源太郎	アントウ ケンタロウ	It's Miracle 九州	It's Miracle 九州	大分	中	個人

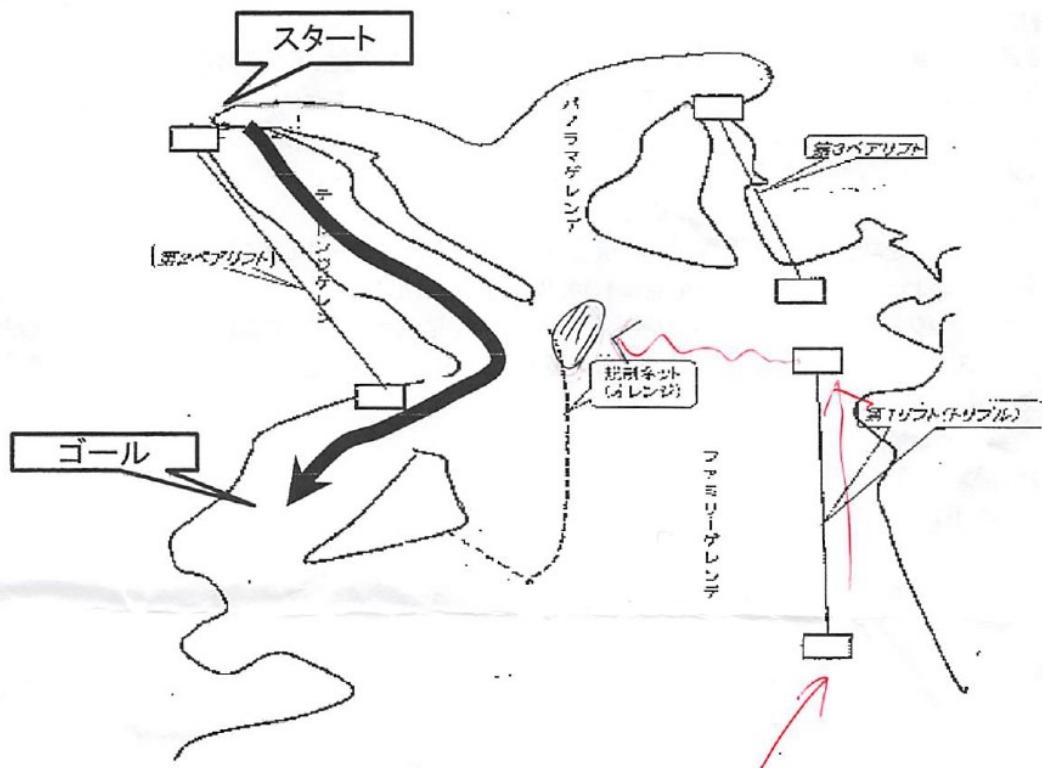
【大会役員の皆様へ（お願い）】

本大会の円滑な運営のため、以下の事項についてご理解とご協力をお願ひいたします。

- ・担当業務につきましては、事前に大会運営マニュアルをご確認のうえ、速やかに業務を遂行できるよう準備してください。係長・係員は十分に連携を取りながら業務にあたってください。
- ・大会の運営は大会本部が行います。スキーフィールドはコースの貸し出しのみとなりますので、不明点や連絡事項がある場合は、スキーフィールドスタッフではなく大会本部係員へご連絡ください。
- ・大会準備中およびレース中に、一般のお客様から質問や苦情等があった場合は、各県スキー連盟の代表として丁寧な対応をお願いします。対応に困る場合は、係長または大会本部まで報告してください。
- ・喫煙は指定された喫煙場所のみで行い、それ以外の場所ではお控えください。また、携帯用灰皿の使用もご遠慮ください。マナー向上へのご協力をお願いします。
- ・旗門員、コース係員、旗門連絡員を担当される方は、ポールセットおよびコース整備の際、必ず両手が使える状態で作業してください。業務中はストックの持参を控えてください。
- ・早朝の設営・準備および配置場所への移動の際は、コース左側（下から見て）を通行してください。
- ・前日および当日早朝からの準備は大変な作業となりますので、大会開催中はスムーズな進行に努め、参加選手が十分に力を発揮できるよう、役員の皆様のご協力をお願いします。また、大会開催にご協力いただくスキーフィールドならびに一般のお客様に、できるだけご迷惑をおかけしないようご配慮ください。
- ・競技終了後は、役員全員で撤収作業を行い、速やかにコースを開放できるようご協力をお願いします。撤収した機材は一旦ゴール付近に集め、その後の移動については指示に従ってください。
- ・各自、感染予防対策に十分努めてください。
- ・大会運営マニュアルに関して不明な点や追加事項がある場合は、全九州アルペン競技会事務局までご連絡ください。

以上、よろしくお願ひ致します。

九重森林公園スキー場レイアウト



		テラス	
事務所		レストラン	ウッドデッキ

レンタル棟

【スタート招集係マニュアル】

1. スタート招集係の業務内容

スタート地点上部にて、以下の業務を行ってください。

- ・スタート 10 分前に、出走予定の選手（前走者を含む）の点呼を行います。
- ・出走直前の選手をビブ順に整列させ、スタート位置まで誘導します。

2 点呼について

① 出走者名簿の確認

当日、出走者名簿を受け取ってください。名簿に基づきスタート順を再確認し、棄権選手の有無を確認のうえ、関係者間で情報を共有してください。

② 点呼の実施

前走者のスタート約 10 分前に、スタート地点上部にて点呼を行ってください。

- ・ビブ番号をコールしてください。
- ・選手はヘルメットを着用しているため、聞き取りやすい大きな声でコールしてください。
- ・ビブ番号のみで反応がない場合は、「ビブ番号＋名字」でコールしてください。

③ 選手の整列

- ・点呼が完了した選手を、スタート地点に約 10 名程度並べてください。

・スタートは 30 秒間隔のため、10 名で約 5 分が目安となります。レース開始後は進行状況を見ながら、順次スタート地点に整列させてください。

④ 再レース対応

再レースを行う選手が出た場合は、スタート審判と調整のうえ、出走させてください。

※状況により、レース途中での割り込み出走が発生する場合があります。

3. その他の留意事項

- ・役員の人手不足が予想されるため、ポールの設置および撤収作業についても、可能な範囲で協力をお願いします。

【コース係員マニュアル】

1 コース係の業務内容

コース係は、以下の業務を担当します。

- ・旗門設置の補助
- ・旗門の撤収
- ・コース整備
- ・旗門の保持および安全確保

2 コース整備の基本方針

競技の安全性および公平性を保つため、状況に応じた適切なコース整備を行ってください。

3 コース整備の手順および注意事項

- ・旗門設置直後は、コース係全員でコース整備を行ってください。
- ・レース中のコース整備は、2～3人ずつのグループで入り、安全を確認したうえで実施してください。
- ・高速デラバージュを用いて、コース上の余分な雪を排除してください。
- ・選手が通過するラインの外側についても、コースアウト時の安全確保のため、積雪や盛り上がった雪を除雪してください。
- ・深く掘れた箇所には雪を入れないでください。雪が固まらず、かえって危険となる場合があります。
- ・気温が高く、雪が緩んでいる場合は、状況に応じて硫安を散布してください。
- ・旗門が外れた場合は、ドリルやレンチを携行し、速やかに修復作業を行ってください。
- ・コース係が不足している場合は、出走後の選手にも整備を手伝ってもらいますので、適切に指示を行ってください。
- ・旗門撤収後は、コース内の掘れた部分に周囲の雪を入れ、均してから終了してください。

以上を徹底し、安全で円滑な競技運営にご協力をお願いいたします。

【誘導係員マニュアル】

1 誘導係の業務内容

誘導係は、競技の安全確保および円滑な進行のため、以下の業務を担当します。

- ・第2リフト乗り場への進入箇所に待機してください。
- ・選手通過時には、一般スキーヤーがコース内へ進入しないよう、適切に誘導してください。
- ・誘導にあたっては、誠実かつ丁寧な対応を心がけてください。
- ・選手の通過間隔は、おおむね30秒です。この間隔を目安に対応してください。
- ・役員が不足しているため、必要に応じてポールの設置および撤収作業の補助も行ってください。

以上を遵守し、安全で円滑な大会運営にご協力をお願いいたします。

【受付係員マニュアル】

1 受付係の業務内容

受付係は、以下の業務を担当します。

- ・役員の受付および役員用ビブの配付
- ・選手の受付および選手用ビブの配付
- ・競技および大会終了後の選手用・役員用ビブの回収

2 受付業務の流れ

(1) 受付所の設置

- ・スキー場より長机 1 台を借用し、受付所を設置してください。

(2) 役員受付

- ・役員は 7 時集合です。受付時に役員用ビブを配付してください。
- ・役員用リフト券が発行された場合は、対象となる役員へ配付してください。

(3) 選手受付

- ・選手受付開始時間になりましたら、選手の受付を行い、選手用ビブおよびリフト割引券があれば、配付してください。

(4) 受付終了後の対応

- ・選手受付終了後、速やかに D S (受付状況等) を連絡し、名簿を持参のうえ計時担当へ引き渡してください。

(5) ビブの回収

- ・選手用ゼッケン (ビブ) はゴール地点で回収します。
- ・役員用ビブは撤収作業終了まで着用しますので、片付け終了後に回収してください。

(6) 回収後の整理

- ・回収した役員用ビブおよび選手用ビブは、まとめてケースに収納してください。

3 その他の注意事項

- ・受付時には、参加者に対して感染予防に努めるよう声掛けを行ってください。

以上を遵守し、円滑な大会運営にご協力をお願いいたします。

【旗門員マニュアル】

1 旗門員の業務内容

(1) 大会会場設営

- ・セーフティネットの設置

- ・旗門フラッグの取付

(2) 競技中

- ・選手の旗門の通過、不通過の確認

- ・レーシングラインの障害による選手の再走要求確認

- ・レーシングライン整備

(3) 競技終了後

- ・旗門撤収

- ・大会会場整備

2 旗門通過の判断基準

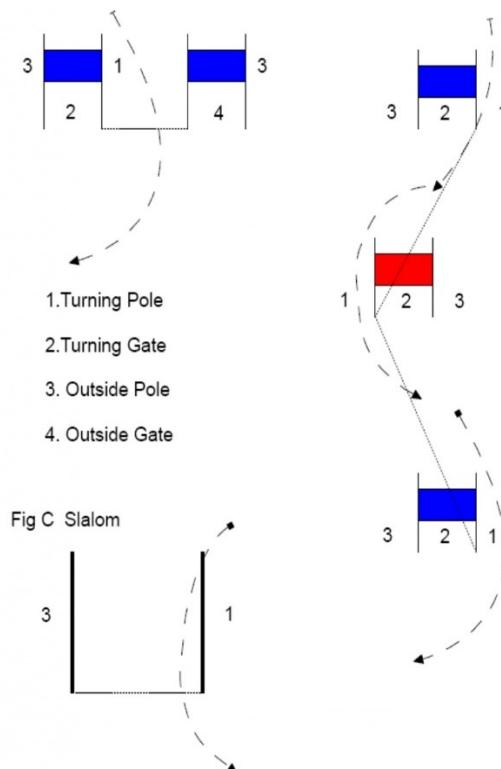
- ・シングルゲートジャイアントスラロームを適用します。

- ・シングルゲートジャイアントスラロームはアウトサイドゲートを持たない。但し、第一旗門および、最終旗門、ディレイゲートは例外である。

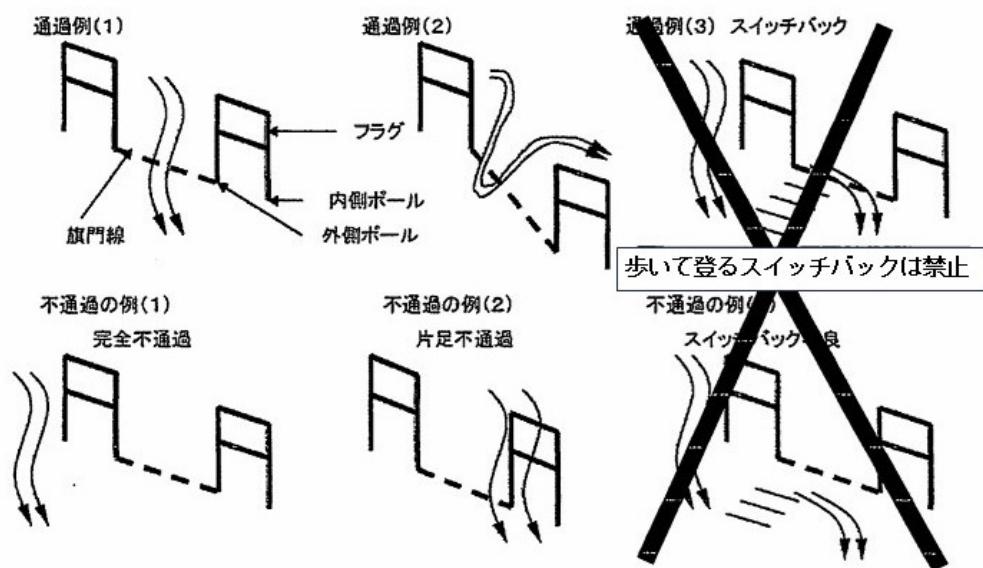
- ・競技者の両スキーの先端と両足が旗門線を横切ったとき、旗門を通過したことになる。

- ・旗門線は、フラッグでつながったポール2組から成る旗門のインナーポール間の雪面最短線である。

- ・アウトサイドポールが存在しない場合の旗門線は、ターニングポール間の想像上のラインを横切る通常のジャイアントスラロームのレースラインである。



- ・片足のみの通過は旗門不通過となります。
- ・選手の安全のため、競技者のスキーが完全に停止した場合は、競技を継続することはできない。(スイッチバック含む)



3 レーシングラインの障害による再走要求

下記のような場合、または類似したケースがあった場合、選手は審判に対し再送を要求することができます。

<レーシングラインの障害例>

- ・レーシングライン上にポール、スキー等があった場合
- ・レーシングライン上を一般スキーヤーが横切った場合
- ・選手が滑走中、前走者がレーシングライン上にいた場合
- ・ポールまたはフラッグ（ポール上部に付けている旗）がはずれ、レーシングラインが明確でない場合

4 コース整備の内容（コース係の補助）

- ・レーシングラインが荒ってきた場合、レーシングライン上に溜まった雪を横滑り・ボーゲン等で「外側へ」払い除けます。（穴を雪で埋めないこと）
- ・転倒等で、ポールが外れた場合、速やかにセットします。
- ・フラッグがはずれた場合、装着してください。なお、フラッグ下端は雪面より1m以上離した高さとします。
- ・旗門が倒れたりした場合、垂直に正しい位置に直してください。
- ・ポールが壊れた場合、コース係に報告し新しい物と交換してください。
- ・レーシングライン内に物等が落ちた場合には、ただちに取り除いてください。
- ・アナウンス等にてレーシングライン整備の依頼があった際は、速やかにレーシングライン整備を行ってください。また、レーシングライン整備終了のアナウンス等でただちに作業を止め、待機位置に戻ってください。

5 旗門員の運営方法

- 旗門員は以下の要領で業務を行ってください。
- (1) 旗門員の方には以下の物を入れて渡します。内容を確認してください。
 - ・旗門記録票、鉛筆
 - (2) 競技が始まるまで(前走スタートまで)に担当する旗門位置にて待機してください。
 - ・レーシングライン外で、担当旗門の通過・不通過を確認できる位置
 - ・選手の邪魔にならないよう留意
 - (3) 前の選手の転倒やスキー板等によるレーシングラインの障害により、選手から再走要求があった場合は、その旨を状況説明と共に「旗門記録票」に記入してください。
その記入した旗門票を選手に手渡し、「ゴールラインをきらずに主審に再走要求をする」よう指示してください。また、レーシングライン内に障害が残っていないかチェックしてください。
(参考：再走要求する時、選手はレースを中断し、旗門票ならびにフィニッシュ審判に申し出る。中断後のレーシングライン内滑走は不可)
 - (4) 大会役員が、旗門票の回収に行きますので、その時に「記入した旗門記録票」のみを手渡してください。(何もないときは渡さなくてよい)
 - (5) 選手の転倒によりレーシングライン上にスキー板、ストック等が外れ、危険と判断した場合のみレーシングライン上から除けてください。その際、選手から棄権の合図がない限り選手のスキー板等には触らないでください。(参考：手伝うとその選手が失格になります)
 - (6) 転倒した選手からレースを続行するか否かの意志表示がない場合は、声をかけて意志表示を促してください。選手が途中棄権する場合は、選手をレーシングライン外に出してください。
 - (7) 歩いて登るスイッチバックは禁止です。コースアウト・転倒の位置しだいでは、失格となります。失格者は、レーシングライン外へ出してください。
 - (8) 前走者が後走者に追いつかれレーシングラインを妨害しているとき、危険と判断したら(3旗門を目安)、前走者に対し「どけ」「パンフライ」等の指示を行ってください。なお、一度パンフライを受けた選手が、再びパンフライを掛ける(パンフライ返し)は認められません。
 - (9) 万が一、レーシングライン上においてレースの続行が危険であると判断されるような事態が生じた場合は、すみやかにその旨をコース係または、無線を所持している大会役員へ伝えてください。

6 その他留意事項

- ・旗門記録票はできるだけ詳しく記入してください。
- ・旗門員が提出した記録は、選手の再走要求や失格を判断する上で重要な書類です。充分に注意し、責任を持った記録に心掛けてください。
- ・旗門員は寒いところで作業することになります。服装(特に防寒対策)には十分に気を付けてください。
- ・気づいたことがあれば、コース係や無線を所持している大会役員に報告してください。

【全九州アルペンスキー選手権 大回転競技補足説明】

- 1 ウオーミングアップでは他のお客様の安全のため十分気を付けてください。特にクローチングは組まないようお願いします。過度なスピードはやめてください。
- 2 時間には余裕をもって準備してください。再走の場合はリフトの優先乗車をしますので、係員に声をかけ、スクールもしくはパトロール入り口から係員の指示に従い乗車してください。
- 3 リフト乗車のマナーをお守りください。ストックを座席に挟んでの乗車はやめてください。
- 4 レストランにおける荷物を置いての席取りは絶対やめてください。他のお客様のご迷惑になります。荷物は棚やロッカーにおいてください。

※ピステン（圧雪車）がスタート地点に待機している場合。

- 5 ピステン横を通路として開放しますが、トライアルコースはプルーケで降りてパノラマコースとの合流に十分注意してください。

以上のことを行ってください。守らなければ大会そのものができなくなってしまいますのでよろしくお願い致します。

「スキー場レストランの利用についてのお願い」

競技者の皆様、およびご家族・関係者の皆様へ

本日は「第 52 回全九州スキー選手権大会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。皆様が日頃の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい滑りを見せてくださることを運営一同心より応援しております。さて、本大会はスキー場様および一般の来場者の皆様のご理解とご協力のもとに開催されております。今後もこの素晴らしい環境で大会を続けていくために、特にレストランの利用マナーについて、改めて皆様のご協力をお願い申し上げます。

1. レストランは「食事を楽しむ方」が優先です

一人でも多くの方が温かい食事をとれるよう、以下の点にご留意ください。

- ・お席の確保について:お食事中以外の方の座席占有はご遠慮ください。
- ・荷物での席取り禁止:お荷物は車内に置かれるか、またはコインロッカーをご利用ください。座席に荷物を置いたままにせず、譲り合ってのご利用をお願いします。食事利用の方の支障になる場合は、大会役員の方で移動することがありますのでご了承ください。

2. 休憩や応援の待機について

ご家族や応援の皆様におかれましては、レストラン内での長時間の待機については、混雑時はお控えください。お食事をされる方を優先していただけますよう、温かいご理解をお願いいたします。

3. 公共の場にふさわしい振る舞いを

レストランは、小さなお子様からご年配の方まで、多くの方が利用される「公共の食事スペース」です。着替えについて:レストラン内(隅の方であっても)での着替えは、衛生面や防犯上の観点からご遠慮いただいております。必ず更衣室またはお車等でお願いいたします。

主催者からのメッセージ

皆様の素晴らしいパフォーマンスは、ゲレンデの上だけではありません。休憩所やレストランでの振る舞いもまた、多くの一般のお客様や子供たちが「競技スキーヤー」に憧れを抱くきっかけとなります。周囲への思いやりを持った行動をお願いいたします。

皆様の安全な競技と、健闘を心よりお祈り申し上げます。

2026年1月18日

大会主催者:SAJ九州地区協議会